

令和5年度第1回桑名市総合教育会議 議事要旨

日 時・場 所	令和6年1月25日（木）午後1時30分～3時00分 桑名市役所 教育委員室
出 席 者	桑名市長 教育長 教育委員：3名 事務局：11名
議 事 次 第	1. 誰もが安心して暮らせる桑名をめざして～外国人児童生徒教育の視点から～ 2. 全国の特徴的な学校について 3. その他
要 旨	<p>1. 誰もが安心して暮らせる桑名をめざして～外国人児童生徒教育の視点から～事務局より資料に基づいて説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・以前はいつの間にかいなくなってしまう家庭があり、定住化が進んでいなかったが、現在はなかま教室に通う子どもたちの様子から定住化が進んでいる。 ・なかま教室へのタクシー送迎について、教室に通う子どもの地域ごとの人数は予測が困難であるが、現時点ではタクシー不足もなく1月からは2台で運行ができています。また、子どもの安全面を第一に考え、先生方の協力のもと大きな問題なくタクシー送迎ができています。厳しい条件で働いている保護者も多いためタクシー送迎はすごく良いことである。 ・なかま教室の期間は、1から3か月となっているが、基本は3か月で対応している。3か月たってもなかなか思うところまで話せない子には1週間程度延長し、個別で対応している。進路ガイダンスについては以前より参加人数も増加し、中学3年生だけでなく、小学5、6年生にも声をかけ参加してもらっている。 ・なかま教室の改善点としては、現在は小学1年生から中学3年生までと一緒に学習している状況だが、もう少し分けて学習できればより効果が出ると考えられるため、教室を広げていくことが重要になってきている。 ・日本語が分からず母親と子どもだけ母国に帰るケースもあるが、外国人のコミュニティができていることもあり仲間がいるという安心感から、家族を呼び寄せるケースは何件かある。 ・言葉が通じなくても、スポーツや音楽を通して心のふれあいはある。 ・子どもたちにとって外国からきた子どもたちは特別な子という感じではなく、クラスの仲間として受け入れることができる。同じ学級の中で一緒に過ごすことで外国の子どもたちが日本語を身につけることにも繋がっていく。 ・ダブルリミテッド問題について、日常会話だと学習のハードルがあり、普通の教室だけだと難しいが、教室とは別の時間で学習をすることで日本語を習得し進路も開けてきている。また、その子たちがボランティアや学習をサポートする側にもなり、教育現場では広がりを見せている。 ・技能実習生の方が多いと思いますが、そのような形から定住していただけるような環境づくりに取り込んでいきたい。

2. 全国の特徴的な学校について

事務局より資料に基づいて説明

・世の中の価値観が変化してきている中で教育が多様化している。全国的にいろいろなスタイルの学校がでてきている。

・現在、桑名市立小中学校再編計画を令和7年度中の策定に向けて取り組みを進めており、このまま人口減少に対する対策を打たなければ市内の児童及び生徒数は40年後には令和5年と比較すると約5割以上は減少するという推計が出ている。また多くの学校施設の老朽化が進んでおり、1年でも早く子どもたちにより安心でよい教育環境を提供できるようにスピード感をもって再編に取り組んでいくことを考えている。多度学園の次の小中一貫校の設立について、多くの児童生徒の教育環境の改善につながる分散進学が顕著な地域、学校施設の老朽化が特に進んでいる学校を含むことが条件として考えると、光風中学校を起点とした市役所の庁舎を含む周辺が施設一体型の小中一貫校の設立場所として当てはまる。

・子どもたち自身で考えて、作りあげていくという経験をたくさんできる学校だと良い。

・採用試験も昔と比べると倍率も下がってきており、なり手が少なく教育現場は人手不足となっている。単学級のところは先生たちが苦しんでいるように感じているため新たな学校は一定規模にしていかなければならない。

・不登校の子や、支援が必要な子どもが増えている中で、フリースクールのような要素がありながら、また、スポーツ少年団に通っている子と通っていない子の運動の差が大きく、中学校の部活動が減ってきているという問題を含めたような小中一貫校にしてもらえたら良い。さらに、省エネやSDGsなども推進してもらえると良い。

・校舎やトイレの老朽化が進んでいる学校もあり、予算内でできるだけのことに取り組んでいきたい。

・地域の人や保護者などに意見を聞きながら特徴を出していけると良い。中には特徴ではなく、学力を付けてもらいたいという意見も出てくると思う。亀山市立白川小学校は小規模特認校であり、複式学級で子どもたちは教えあいながら学べて良いが、人数が足りず野球、サッカーができないデメリットがある。メリットとデメリットをそれぞれ考えながら学校の特徴を考えていけると良い。

・人口が減少していく中で魅力のある学校を作ることができると外からたくさんの人が集まり町にも活気が出てくるため、選ばれる学校になっていくことはすごく大切である。地域の人々の意見を聞きながら、支援が必要な子やいろいろな子たちにも選ばれる学校にするという視点をもって考えていく。

・東京などからの教育移住が増えている。海外に行く方もいれば地方で自分の思う教育を展開していこうとする形もでてきており、教育が多様化してきている。公教育がどうなっていくか、時代はスタートアップ型教育も含まれてきているという事例があった。

3. その他

事務局より、次回の予定について連絡

(以上)